

F1 フォンテーヌブロー Fontainebleau

フォンテーヌブローはパリから南へ約 60km の所にある世界でも 1, 2 位を争うボルダーエリアである。ここは観光地としても有名で、クライマーでなくともその名を知っている者は多いだろう。この近辺は深い森に留まれている、その中に大小さまざまな砂岩のボルダーが転がっていてエリアの数も 50 を軽く超えている。ここは易しい課題から難しいものまで無数にあるが、最難はフォンテーヌブローグレードで 8 以上。また、ここはグレード別に分かれたサーキットと呼ばれるコースがある。これはペンキで書かれた同色の記号や数字を No1 から順に追って登って行くもので 200 以上のサーキットがある。

近年フランスにクライミングに出かける人はとても多い。しかし、どうもパリは観光や買い出しの場として立ち寄るだけのようである。パリまで来て観光しているだけではもったいない。ぜひ時間に余裕のある人はここを訪れてほしい。中にはボルダーなんてつまらないと思う人もいだろう。しかしフォンテーヌブロー城を見ついでちょっと森の中を覗いてみてほしい。そこは子どもから老人まで、日本では考えられないほどの人達がボルダーを楽しんでいる姿が目に入るだろう。きっとボルダーに興味のなかった方もちょっとやってみようと思うだろう。登れなくて当たり前。でも日本では味わえない雰囲気やボルダーがいかにも人気があるかききと感し取れるだろう。

岩質

砂岩

ルート

砂岩といっても鷹取を想像してもらったら困る。表面はとてもなめらかでパーミングや足業を屈指して登る。見不可能に見える課題もムーブのシーケンスが解れば簡単に登れるものもある。下地はたいへん平。ただ中には高いルートや下地の悪い所があるので注意。ここではチョークの使用が禁止されている(そんなに厳密ではない)。布切れに松脂とチョークを混ぜたものを紐で縛った、照る照る坊主のようなものを使用する。時期によっては岩にゲジゲジのような虫が山のように付着しているので、この照る照る坊主は必携だ。その他靴の汚れを防ぐマットかぞうきんそしてブラシは必需。さまざまなエリアがあるが、最初はフォンテーヌブローとヴィレピランの町を結ぶ道そののキュビエが良い。

宿泊

キャンプ場はヴィレピランの町の外れに無料のがある(水あり)。観光も兼ねるならパリからも近いのでパリをベースにしても良い。

シーズン

一年中可能。

ショッピング

トポがほとんど解らないので買った方がいい(岩と雪 133 号にも詳しく紹介されている)。パリのオピューキャンペール(有名な登山店)やフォンテーヌブローの町などで何種類も売っている。食料品はフォンテーヌブローの街でほとんど手に入る。ヴィレピランの町のパン屋もお進め。

アプローチ

車利用ならフォンテーヌブローを目指して、あとは自分の行きたいエリアを探せば良い。電車とバスでもフォンテーヌブローへ行くことができる。しかし各エリアへは歩くことになる。